

## 田中復興大臣記者会見録

(令和2年8月27日(木) 14:40～14:49 於) 女川町立女川小学校・女川中学校)

### 1. 発言要旨

皆さん、こんにちは。復興大臣の田中でございます。

本日は宮城県の名取市、そして女川町を訪問させていただきました。

今回の訪問では、今年5月に開館した、防災拠点としての機能を持つ伝承館の視察だとか、復興に尽力されていらっしゃる地元の方々の意見交換もさせていただいたところでございます。

また、この女川町立女川小学校・女川中学校の視察では、コンパクトシティの考え方に基づいての校舎の一体化の取組や、ICTの活用についてお話を伺ったところでございます。先日落成式が行われたばかりでございますが、子供たちの明るく元気な姿を見ることができたことは、大変うれしく思っております。

また、カタル国から多額な御寄附を頂いてこのような立派な学校ができたということにつきましても、カタル国の皆様に心から感謝申し上げる次第でございます。

今日は、特に名取市の「かわまちてらす閑上」、そして女川の「シーパルピアル女川」を視察させていただきました。また、「かわまちてらす閑上」では、お昼もいただいたわけですが、お昼をいただくお店は、満員どころか、人が待っているほどの賑わいぶりでございます。私も本当にそういう姿を見て、復興を実感したところでございます。

いずれにしても、今、新型コロナウイルスの影響が各所に出ておるわけですが、この状況を何としても乗り越えて、復興に向けて更に努力しなければならない、この思いでございます。

引き続き、被災自治体の皆様と共にしっかりと連携しながら、現場主義を徹底するとともに、被災者の皆様に寄り添い、被災地の復興に全力で取り組んでまいりますことを改めてお約束を固くさせていただきますと思います。

今日は御関係の皆様方にもお世話になりました。猛暑の中の視察で御迷惑をお掛けしました。本当にありがとうございました。

### 2. 質疑応答

(問) 大臣が前回女川にいらしたのが去年の12月ということで、そのときは庁舎だったのですけれども、そのときの町並みと今日の町並みを比べてどのように感じられましたか。

(答) 前回も復興の姿を見て大変うれしく思ったところでございます。今日はもっともっと復興が完成しておる状況を拝見することができて、更に心強く思ったところでございます。

ただ、現実にはこれからまだまだ多くの皆さんに来ていただいたり、そして更にこの地域を知っていただくということが大切でございます。全国の皆さんにもできれば、オリンピックも来年あるわけでございますが、世界の皆さんに向けても、ぜひひとつ、こういう姿を知っていただくために努力してまいりたいと思っております。

(問) 続いてなのですけれども、新型コロナウイルスの影響で以前と同じように宮城県自体に行くのが難しくなっていることがあると思いますが、そうした中でどのように連携をしていきたいか。

(答) 「Go Toトラベル」のこともそうでございますし、国民の全ての皆様方にお気を付けいただいて、徹底してコロナ対策はしていただきたいのでございますが、そういうことをきちんと対応しながら来ていただきたい。また、足を運んでいただくことによって復興の様子を見ていただく、おいしい物を食べていただく、こういうこともお願い申し上げたいところでございます。

早くコロナの状況が改善することに、私どもも最善の努力を尽くしてまいりたいと思っております。

(問) 女川町の視察で、先ほど女川交番の遺構ですとか、シーパルピアを視察されたと思うのですけれども、その感想をもう一度お聞かせください。

(答) 遺構として交番を改めて見ますと、いかに大変な津波であったのか、災害であったかということをまざまざと感じるところでございます。

こういうことが二度とあってはならないわけでございますが、自然の驚異、恐ろしさというものはきちんとこれからも伝えていかなければなりませんし、そういうことがあったときに被害を最小限度に食い止めていかなければならないわけでございます。ああいう伝承する施設の大切さ、また、多くの皆様方に見ていただき、知っていただいて、きちんと対応していただけるための心構えを持っていただくこと、時代が変わろうと、歳月が流れようとも、そういうことが大切だと改めて感じたところでございます。

ありがとうございました。

(以 上)